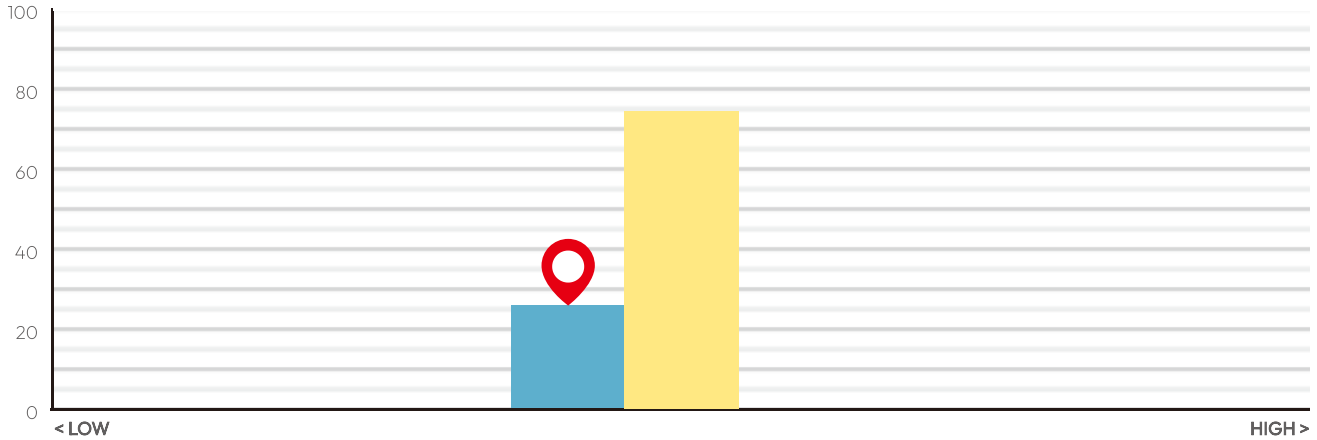


# 勃起不全(ED)

あなたの遺伝的な発症リスクは**低い傾向**でした



## 結果説明

性機能障害のうち、性交時に男性器が十分な勃起状態を達成できない、または持続できない状態を勃起不全（ED）と言います。なお、勃起不全には十分な性交が行えないといった程度の症状も含まれます。

原因の多くは血管、神経、ホルモン等の障害で、一部の薬物もその原因となることがあるようです。また、性交に対する不安や、ストレス、うつ病など心理的要因も原因になり得ると考えられています。そのため、症状は慢性的にみられるわけではなく、環境によっても変化するとされています。

## 項目概要

この項目は「標準」「低い傾向」の2段階で判定しています。

勃起不全の発症リスクが低い傾向と判定された方は、遺伝的に勃起不全になりにくい傾向のある方です。

## 予防と対策

勃起不全は身体的な影響と精神的な影響があります。

糖尿病や高血圧など生活習慣病の人では動脈硬化が進行していることが多く、結果として勃起不全が起こりやすくなります。まずは生活習慣病の予防に努め、血液をサラサラに保つことが大切です。甘いものや油が多い食事を控え、1日3食栄養バランスのとれた食事を規則正しくとることを心がけましょう。魚や豆腐、納豆などの大豆製品、野菜、海藻を積極的に取り入れ、主食主菜副菜がそろった和食の定食型の食事が理想的です。

また運動不足も勃起不全の原因となります。ウォーキングや軽めのランニングなど日頃から軽い運動を習慣付けて血液の循環を良くして、勃起不全の予防や改善につなげましょう。

また、ストレスや不安などによっても勃起不全が引き起こされる場合がありますので、ストレスをためない生活を心がけましょう。

## 遺伝子多型の頻度情報/解析遺伝子情報

多型部位	関連遺伝子	遺伝子型			説明	信頼性
		1st (頻度)	2nd (頻度)	3rd (頻度)		
GH120310	GNB3	TT(24.0%)	TC(50.4%)	CC(25.6%)	GNB3遺伝子はG塩基結合タンパク質を産生する遺伝子であり、細胞外の刺激を細胞内へ伝達する機能に関与することが知られています。この遺伝子がTT型TC型の場合、勃起不全（ED）の遺伝的リスクが高い傾向にあると報告されています。	2

## 参考文献

Safarinejad MR, et al. G-protein  $\beta 3$  subunit gene 825C/T polymorphism and its association with the presence, severity, and duration of vasculogenic erectile dysfunction. Fertil Steril. 2013 Jan;99(1):69-75. doi: 10.1016/j.fertnstert.2012.08.033. Epub 2012 Sep 15.